

平成19年度 決算報告



今回の決算は、一般会計では歳入222億3,832万円、歳出212億6,319万円、歳入歳出の差引額は9億7,513万円となりました。このうち翌年度に繰り越した事業に必要な一般財源54,500万円を差し引いた実質収支は9億2,063万円の黒字となりました。また特別会計（下表）では、合計で歳入174億5,679万円、歳出194億8,015万円、歳入歳出の差引額は20億2,336万円の赤字となりました。今後引き続き、徹底した行財政改革に取り組みとともに、総合計画に基づく計画的なまちづくりを進め、「人と自然がきらめく生活創造都市」の実現に向けて一層の市民福祉の向上に努めます。

歳入（一般会計は222億3,832万円、前年度比3.6%増）

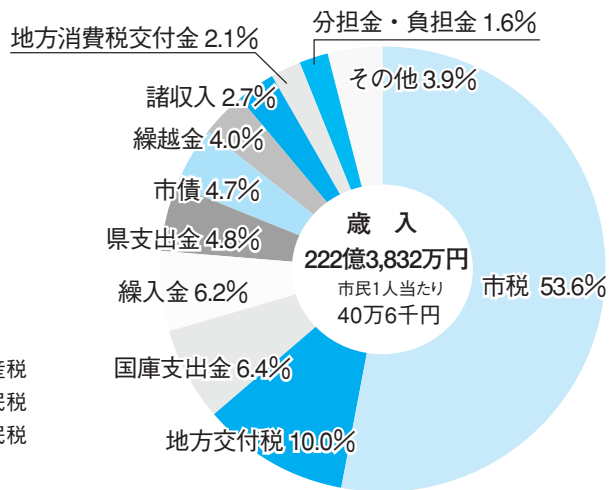
一般会計の歳入は、地方譲与税が前年度より66.2%減少、地方特例交付金が73.3%減少しましたが、市税が4.9%増加したことなどから、歳入全体では前年度より3.6%の増収となりました。

■歳入の内訳

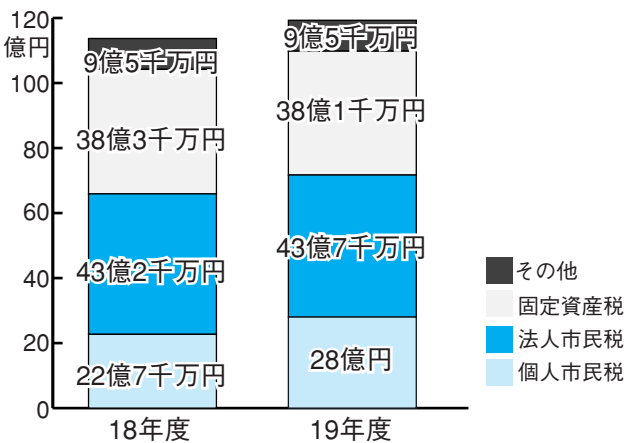
| | |
|----------|-------------|
| 市税 | 119億2,873万円 |
| 地方交付税 | 22億1,525万円 |
| 国庫支出金 | 14億1,327万円 |
| 繰入金 | 13億8,000万円 |
| 県支出金 | 10億6,966万円 |
| 市債 | 10億3,930万円 |
| 繰越金 | 8億9,371万円 |
| 諸収入 | 6億1,236万円 |
| 地方消費税交付金 | 4億6,049万円 |
| 分担金・負担金 | 3億6,207万円 |
| その他 | 8億6,348万円 |

■市税について

市税は、前年度より5億6千万円（4.9%）増加し、収入全体の半分以上を占めています。増えた主な原因を下のグラフで見ると、個人市民税が大きく伸びています。（23.2%）これは、国から地方への税源移譲が実施されたことによるものです。



■市税の内訳



■特別会計の決算

| 会計名 | 収入額 | 支出額 | 差引 |
|--------|------------|------------|-----------|
| 国民健康保険 | 61億181万円 | 59億3,881万円 | 1億6,300万円 |
| 簡易水道 | 2億2,021万円 | 2億1,695万円 | 326万円 |
| 墓園 | 881万円 | 2,993万円 | △2,112万円 |
| 下水道事業 | 26億6,506万円 | 49億6,795万円 | △23億289万円 |
| 老人保健 | 50億8,652万円 | 50億2,424万円 | 6,228万円 |
| 介護保険 | 33億7,438万円 | 33億227万円 | 7,211万円 |

市の会計には、一般会計と特別会計があります。一般会計は、市の行政運営の基本的な経費を網羅したもので、特別会計を除いたすべての経費は一般会計で処理されます。特別会計は、特定の事業を行ったため、特定の収入を特定の支出に充てるため、経理を独立して行います。光市には左の六つの特別会計があります。

■一般会計と特別会計について